

| | | | | | | | |
|--------------------|---|------------------------------------|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 社会福祉調査の基礎 Social Welfare Survey Basis | | | ナンバリング No. | I2-006 | | |
| 年次 | 2 年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 佐藤 佳子 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-ラーニング で対応。または福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(社会福祉士受験資格必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP4,DP5,DP6 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>本講では、社会福祉調査の理論を概観するとともに、社会福祉調査の手法を学ぶ。</p> <p>①社会福祉調査の意義、目的について習得することができるようにする。</p> <p>②社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について説明できるようにする。</p> <p>③社会福祉調査における倫理や個人情報保護について説明できるようにする。</p> <p>④量的調査の方法及び調査の結果について適切に例証できるようにする。</p> <p>⑤質的調査の方法及び調査の結果について適切に例証できるようにする。</p> <p>⑥ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について説明することができるようにする</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 基本はテキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。後半はフィールドワークを取り入れる。毎回リアクションペーパーを記入させ、授業の振り返りと知識定着を図る。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 社会福祉調査の基礎知識や概念を説明することができる。 | | | | | |
| | L03 | 社会福祉調査実施過程で生じる倫理的配慮について説明することができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 授業終了後のリアクションペーパーにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 教科書:「社会福祉調査の基礎(最新はじめて学ぶ福祉)」/ミネルヴァ書房 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | 私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。履修上のルールを守らない場合は、減点対象とする。 | | 30 | | |
| レポート/作品 | 調査デザインの立案ができている。明確な理論と根拠(エビデンス)に基づいて考察、報告がなされていること。 | | | 15 | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。 | | 55 | | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 85 | 15 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価の説明、諸注意等) 社会福祉調査の意義と目的、社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係 |
| | 事前・事後学習 | 事後:シラバスを確認しておく |
| 2 | 授業内容 | 社会福祉調査の対象と統計法の概要 |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 3 | 授業内容 | 社会福祉調査における倫理と個人情報保護 |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 4 | 授業内容 | 社会福祉調査のデザイン |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 5 | 授業内容 | 量的調査の方法(量的調査の概要、種類と方法) |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 6 | 授業内容 | 量的調査の方法(質問紙の作成方法、配付と回収、集計と分析) |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 7 | 授業内容 | 質的調査の方法(質的調査の概要、観察法、面接法) |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 8 | 授業内容 | 質的調査の方法(質的調査の記録方法と留意点、データの分析方法) |
| | 事前・事後学習 | 事前:教科書該当ページを読んでおく 事後:配布資料の空白部分を埋めておく |
| 9 | 授業内容 | ソーシャルワークにおける評価(意義、対象、方法) |
| | 事前・事後学習 | 事前:調べたい事柄を考えておく 事後:配布課題を仕上げしておく |
| 10 | 授業内容 | 社会福祉調査の実施プロセス(1)調査テーマの設定、仮説構築とその類型 |
| | 事前・事後学習 | 事前:調査テーマを考えておく 事後:授業中配布した課題を仕上げしておく |
| 11 | 授業内容 | 社会福祉調査の実施プロセス(2)調査対象者の選定と社会福祉調査の実施 |
| | 事前・事後学習 | 事前:調査対象者と実施案を考えておく 事後:調査実施 |
| 12 | 授業内容 | 社会福祉調査の実施プロセス(3)データ分析と調査報告書の作成① |
| | 事前・事後学習 | 事前:調査票の確認 事後:調査票の入力を完了させておく |
| 13 | 授業内容 | 社会福祉調査の実施プロセス(4)データ分析と調査報告書の作成② |
| | 事前・事後学習 | 事前:調査データの分析 事後:調査報告書の作成 |
| 14 | 授業内容 | 社会福祉調査の実施プロセス(5)調査報告【課題 調査報告書】 |
| | 事前・事後学習 | 事前:発表準備 事後:振り返りシートの記入 |
| 15 | 授業内容 | 前期のまとめ |
| | 事前・事後学習 | 事前:配布資料を過不足のないよう整理して持参する 事後:試験勉強 |